

区分	専門基礎分野	単位	1単位
科目名	治療論Ⅰ	時間数	30時間
講師名	非常勤講師	履修学年	2年次
概要	1.疾病の回復を促進する治療の原理を知り、様々な専門的治療があることを理解する。 2.疾病が人体に与える影響を理解し、刻々と変化する生命状況や治療のあり方を理解する。 3.化学療法の適応と身体に与える影響が理解する。		
学習目標	1.急性期治療（手術療法）下での生体反応と機序および経過と管理が理解できる。 2.放射線治療の適応と身体に与える影響が理解できる。 3.救急医療における主要病態に対する救急処置が理解できる。 4.化学療法の適応と身体に与える影響が理解できる。		
授業内容			
回数	学習内容	授業形態	
1	手術療法（目的と種類）	講義	
2	手術療法（手術侵襲と生体反応）	講義	
3	麻酔法（麻酔の種類・管理）	講義	
4	放射線療法（放射線療法の目的、照射方法の種類）	講義	
5	放射線療法（放射線療法に伴う有害事象、放射線被ばく防止策）	講義	
6	放射線療法（放射線の被ばく防止策の実施）	演習	
7	救急医療（クリティカルな状態にある対象）	講義	
8	救急医療（クリティカルな状態にある患者の観察とアセスメント）	演習	
9	救急医療（クリティカルな状態にある患者の観察とアセスメント）	演習	
10	救急医療（主要病態に対する救急処置 BLS・ACLS）	演習	
11	救急医療（主要病態に対する救急処置 BLS）	演習	
12	救急医療のまとめ	講義・演習	
13	がん薬物療法（がん薬物療法とは）	講義	
14	がん薬物療法（がん薬物療法を必要とする患者とは）	講義・演習	
15	がん化学療法（がん薬物療法が患者に及ぼす影響と看護）	講義・試験	
使用教科書・教材・参考書			
新体系看護学全書 経過別成人看護学① 周術期看護 メジカルフレンド社			
新体系看護学全書 経過別成人看護学① 急性期看護：クリティカルケア メヂカルフレンド社			
新体系看護学全書 基礎看護学④ 臨床看護総論 メヂカルフレンド社			
新体系看護学全書 別巻 放射線診療と看護 メヂカルフレンド社			
成績評価の方法			
筆記試験 100％ （手術療法・麻酔法20％、放射線療法20％、救急医療40％、化学療法20％）			
備考 演習は各クラス、その他は合同講義			
6回目演習：放射線の被ばく防止策の実施			
8～11回目演習：グループを作成し、モデル人形を使用し一次救命・二次救命の実際をローテーションしながら体験する。			
14回目演習：人体へのリスクの大きい薬剤のばく露予防策			